

1. 令和 7 年度をふりかえって

社会福祉法人志和大樹会は平成 11 年 3 月設立、平成 12 年 4 月開所し令和 7 年度は 26 年目の事業年度です。職員は「目配り」「気配り」「思い遣り」を心に、利用者の皆様が健康で安心して暮らせるように取り組んできました。

令和 7 年度の紫波町の気候は、夏は昨年度に引き続き猛暑となりました。一方冬は例年になく降雪量の多い年でした。また、クマ出没と人身被害は町内でも発生しました。法人として残菜を屋外に置かない事や、駐車場に夜間照明を増設し安全対策を行っております。

事業運営では、入所者様の心身状態維持と悪化予防の安定した健康管理を継続し進めております。昨年度迎えた嘱託医、夜間訪問看護で 24 時間連絡体制とし、嘱託医、看護師、介護士及び訪問看護ステーション看護師による健康情報共有を毎週行っております。また、6 年 7 月以降入所者様の口腔衛生を新たな歯科医師と歯科衛生士による訪問治療を継続しており、入所者様の健康は安定しております。令和 5 年度入院は 36 件で延 989 日でしたが、7 年度は 12 件延 260 日、件数 66%入院日数で 73%減となりました。また、看取り指針を定め 6 年度から家族の同意を得て、7 年度は 9 名の入所者様の看取りをしております。一方、7 年度新たな入所者は 12 名です。受入れを法人内在宅支援の各課が連携を行い、速やかな入所が出来ております。このような取り組みで、入所者様の心身状態維持と安定した健康管理をのものと特養ホームの事業運営は出来ております。

業務管理では、6 年度に導入した介護見守りシステムやタブレット端末等を活用し、介護従事者の身体的負担軽減を図り、業務効率化し効果的体調観察を行っております。デイサービス送迎車両は 2 年越しで 5 月に納車、厨房には業務用冷凍庫と給湯器を更新しております。

事業運営では、職員定着と収支改善を目指しております。7 年度は職員賃上げ補助金で改善をしました。引き続き、効率的事業運営を進めながら健全な事業収支を目指して参ります。今後とも、利用者と地域福祉拠点施設としての使命を果たして参りますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人志和大樹会
理事長 北條 俊一